

令和7年度自衛隊合同記念日行事

令和7年11月15日(土)大村市街において、長崎県大村市に所在する陸上自衛隊大村駐屯地、同竹松駐屯地、海上自衛隊大村航空基地及び五島市に所在する航空自衛隊福江島分屯基地による令和7年度自衛隊合同記念日行事を開催した。

本行事は、昭和31年に大村駐屯地で記念日行事を行ったことから始まり、昭和45年三部隊合同記念日行事、平成5年から四部隊合同記念日行事となり、今年で通算29回目を迎えた。

行事では、バスターミナル通りの交通規制を行い、儀仗・音楽演奏・竹松ホーク太鼓・市中行進の順で行った。

音楽演奏では、小郡駐屯地・小倉駐屯地・飯塚駐屯地・湯布院駐屯地の支援を頂き5曲を披露し、次に、竹松駐屯地に所属する隊員により竹松ホーク太鼓が鳴り響いた。沿道からは大きな拍手と喝采をいただいた。

市中行進では四部隊司令とともに長崎県知事・大村市長も観閲台に登壇し、音楽隊の演奏の下、長崎県旗、大村市旗を先頭に、おむらんちゃんやフラワー大使が沿道の観客に手をふって行進が開始された。次に、各部隊は創意工夫を凝らし、陸上自衛隊・海上自衛隊・航空自衛隊の各種服装で力強く大村市内を行進し、車両では、16式機動戦闘車や水陸両用車も行進、航空機ではオスプレイも参加し、沿道の観客を魅了した。

本行事で、自衛隊の活動を広く知ってもらい地域との共存・絆を深める良い機会となり、沿道の多くの方々からは「記念日行事よかったよ」というお言葉をいただいた。



おむらんちゃん



徒步行進(16普通科連隊)



長崎県知事・大村市長と4部隊司令



オスプレイ飛行



車両行進(4施設大隊)



音楽演奏

#3師団訓練検閲(16普連)

第16普通科連隊(連隊長1等陸佐 土肥崇紀)は令和7年11月23日(日)から11月30日(日)までの間、#3師団訓練検閲の場において第3中隊に対する訓練検閲を行った。

検閲開始にあたり、統裁官は「領域横断作戦環境下であることを常に意識せよ。」「衝撃を止めない部隊運用及び戦い方を確立せよ。」「戦闘力の組織化に着意せよ。」を要望事項として訓示した。

極寒の中、各級指揮官の積極果敢な指揮の下、各隊員は士気旺盛にして積み重ねてきた練成の成果を遺憾なく発揮し、与えられた任務を完遂した。

本訓練を通じ、第3中隊の任務遂行能力を把握するとともに、今後の訓練の資を得ることができた。



敵に機関銃を指向する隊員



林内を前進する隊員



訓示を述べる連隊長



迫撃砲を準備する隊員



敵を捜索する隊員



攻撃命令を不達する小隊長

島原城登はん訓練(16普連)

第16普通科連隊は、令和7年12月3日(水)から12月5日(金)までの間、長崎県島原市にある島原城で島原城登はん訓練を行った。

本訓練は、隊員の懸垂降下及び特殊卸下訓練を実施し、登坂能力の向上及び島原城奉仕活動を実施して、地域住民の自衛隊に対する理解と信頼を深める目的で行われた。

参加した隊員は、高さ4m〜18mの垂直に近い城壁をロープで釣り下がり、垂直降下及び特殊卸下を行い雑草を手際よく刈り取って島原城のきれいな外観を取り戻した。本訓練を通じ、登はん能力の向上及び地域住民の自衛隊に対する理解と信頼を深めることができた。

連隊小火器射撃競技会(16普連)

第16普通科連隊は、令和7年10月8日(水)から10月10日(金)までの間、連隊小火器射撃競技会を行った。

本競技会は、小火器射撃能力の向上を図るとともに、部隊の団結強化及び士気の高揚を図る目的で行った。

競技会は、1日目・2日目は小銃射撃(200m立姿及び中間姿勢による射撃)3日目に機関銃射撃(銃身交換を伴う射撃)で競われ、小銃及び機関銃の射撃精度、迅速な操作が試される射撃競技会となった。各中隊が日ごろの訓練成果を発揮し、白熱した競技会になった。

小銃の部、機関銃の部ともに第2中隊が優勝し、総合優勝の成績を収めた。本競技会で得た教訓事項を糧に、更なる飛躍・精強化を目指し、まい進する。



優勝した第2中隊記念写真



小火器射撃



作業終了後の島原城



ロープを巧みに操り作業する隊員